

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	社会教育事務管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	05	01	02	02
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	生涯学習課				
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もができる生涯学習の推進		主管課長	中西 直人				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	生涯学習課の共通事務	意図	効率的な事務の執行を図る。
事業内容	生涯学習課事務全般に係る庶務的な事業を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	経費を節約しながら事務執行を行う。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	複写機使用料	78,117	81,900	63,540	円	↓↓↓	実績値
②								
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成30年度は、流山市おおたかの森ホール関係の事務など、事務量が増加したことから複写機使用が増加した。単価の減額に伴い、決算額が減したものの、複写機の使用は一時的な増加と考えられることから、引き続き効率的な事務の執行を心がけたい。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		921,746	768,690	782,285				
事業費(b)(円)		212,246	209,190	205,285				
うち一般財源		212,246	209,190	205,285				
職員給与費(c)(円)		709,500	559,500	577,000				
人役・職員(人)								
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.50	0.50	0.50				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	資料の作成部数をできるだけ削減し、課内の資料の共有化などにより効率的な事務執行を図る。	③取組における課題(Check)	事業の増加により、新たな事業の説明のための資料を作成する機会が増えたため、印刷枚数が増加した。
②H30に実施した取組(Do)	資料の作成前に必要部数を把握し、印刷する部数をできるだけ削減した。また、回覧により、課内資料の共有化に努めた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	今後は、記念事業や公の施設の新規設置などの事業は減少する見込みであり、通常の業務上において効率的な事務の執行を心がける。